

▼アウイクリ注 フレックスタッチ [注]

【重要度】 【一般製剤名】 インスリン イコデク (遺伝子組換え) Insulin Icodec (Genetical Recombination) 【分類】 週1回型 基礎インスリン製剤

【単位】 ▼300単位 (0.43mL)・▼700単位 (1mL) /本

【常用量】 インスリン療法が適応となる糖尿病に週1回皮下注

新規は70単位以下

他のBasalからの切り替えは1日量×7単位

初期量1回30~140単位, 維持量は他のインスリン製剤を含めて週あたり30~560単位 (それ以上を適用することがある)

【用法】 皮下注

【透析患者への投与方法】 常用量だが, 投与タイミングについては検討の余地があり, 現状では1日1回持効型を優先 (5)

【保存期CKD患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 遺伝子組換えヒトインスリン類似体で21個のアミノ酸残基からなるA鎖及び29個のアミノ酸残基からなるB鎖から構成される修飾ペプチド。3個のアミノ酸残基 (A鎖: Y14E, B鎖: Y16H, F25H) が置換され, B鎖C末端のT30は除去され, B鎖K29のε-アミノ基が(22S)-22,42-ジカルボキシ-10,19,24-トリオキシノ-3,6,12,15-テトラオキサ-9,18,23-トリアザドテトラコンタン-1-オイル基でアシル化されている。

【主な副作用・毒性】

基礎インスリン連日投与よりも低血糖頻度が高い (特に1型)

【安全性に関する情報】

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】 6,380.26

【透析性】

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【備考】 使用中は室温にキャップ等により遮光して保管し総量300単位製剤は6週間以内, 総量700単位製剤は12週間以内に使用 (凍結を避け2~8℃保管も可能)
(1)

【更新日】 20241109

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。